

市長とのかがやきライフトーク

と き：平成22年2月19日（金） 13：30～15：00

ところ：大垣市総合福祉会館

団 体：防災チュウチュウ隊

【団体】

防災チュウチュウ隊は平成19年の災害救援ボランティア講座を受講した有志が集まり、講座で学んだことを活かすため、平成20年に21名で結成したボランティア団体です。名前の由来は、発足の年が「ねずみ年」であったこと、ネズミは地震など災害時に非難が早いこと、ネズミの鳴き声と注意のチュウ、会員がネズミのように増えることを願ったものです。主な活動は、市民のみなさんに災害に対する意識を高めてもらうため、各地域に出向いて寸劇を交えた防災の出前講座を実施しています。

また、昨年の12月から大垣市が開催した防災ひとづくり塾に6名が参加したり、4名が防災士の試験に合格し資格を取得したりと個々に自己啓発に努めているところです。



【団体】

結成してから3年が経過し、これまでに学んだことを活かすにはどうしたらよいかを、現在、議論しているところです。

その中で、災害時に家具が転倒してケガなどをしないように、独居老人の方々

のお宅を訪問して器具の取り付けをしていきたいと考えています。そのためには、私たちだけでは、独居の方の情報を得られませんので、行政と協力体制を築ければと思います。また、取り付け方を専門の方から習い、取り付けをしています。

【市長】

家具の転倒防止を進めていただけるのは、大変ありがたいです。独居の方に限らず、地震の際には家具は凶器となってしまいます。建設業の組合の方々が家具の取り付けや転倒防止器具の取り付けをしていただけたところもありますので、皆さんも取り組んでいただけたらありがたいです。

また、新しい住宅は、家具が据え付けられていることが多くなり転倒防止器具は必要ないですが、一般の住宅では今後必要になりますね。

【団体】

出前講座に行きたいのですが、申し込みが少ないため、どうやって宣伝していくかが今の課題です。いきいきサロンや老人クラブからの申し込みが増えてくれば、やる気にも繋がっていくのではと思います。



【市長】

防災についての心構えなどをお話されるのですか？

【団体】

そうですね。東海地震はいつ起こるか分かりませんし、防災コーディネーターをやっていることもあり、出前講座でお話させていただいていることを地元でも説明しています。話だけでなく、オリジナルの寸劇も

交えての講座を開いています。

【市長】

地震のときは避難経路の確保のために、玄関は開けておいたほうがいいのですか？

【団体】

そうですね。

また、火災等にも備えて、お風呂の水は残しておいた方がいいかと思います。

【団体】

最近、私の町内で火事が発生しました。そのとき、消火栓の位置が分からないということがありましたので、住民にも分かりやすく表示されていると思います。その後、消防署の方と町内の方で、どこに消火栓があるのかを確認をして、町内の方に一覧を配布しました。近所の方も消火栓付近に駐車しないようにしています。火事の際にはみんなで消火活動ができたらいいと思います。

【市長】

消火栓の位置は意外とみなさん知らないことが多いかもしれませんね。自分の家でも消火器がどこにおいてあるとか、日頃から確認しておいて、いざというときに備えなければいけませんね。

【団体】

火事の際に消防署の方や地元の消防団は、消火栓の位置を把握しているので、消火活動が迅速に行えますが、地元以外の消防団の方々は消火栓の位置が分からないことがありますね。

町内には10箇所以上あるかと思われそうですが、表示がされていないものがあるのではないのでしょうか。雪が積もった時には特に分かりにくいと思いますので、表示は必要だと思います。

【市長】

地元の消防団は、把握しているでしょうけど、他の分団の方が分かりづらいですよ。防火対水槽は各地に設置しており、分かりやすいですが、地下の消火栓は分かりにくいかもしれませんね。

【団体】

以前は、市役所の生活安全課の防災担当の方が、チュウチュウ隊のPRをしていただいたおかげで、出前講座の申し込みを多くいただいていたのですが、最近は申し込みがなくなってしまいました。出前講座が活動の柱ですので、講座の申し込みがなくなると、私たちの活動ができなくなってしまいます。実際に、講座を行うと会員のやる気も出てきますし、自宅への防災意識も変わってきます。私たちもPRはしていますが、市の協力も引き続きお願いします。



【市長】

防災・地震対策は非常に大きな課題だと思いますので、ネットワークが広がるといいですね。ご存知のとおり、防犯の分野では、さわやか見守り Eye が、多くの皆さんの協力をいただいております。数年間で犯罪件数はかなり減少しています。経済情勢が不安であり、犯罪件数が増えることも覚悟していましたが、件数は多い時に比べて、半分ほどに減少しており、さわやか見守り Eye は大成功と言えると思います。

防災の分野でも、家具の転倒防止のため一人暮らし高齢者のお宅に器具の取り付けをしていただいておりますので、今後、活動が全市的に広がるにはどうしたらよいか考えていかないとけませんね。防災に対する意識改革をしていただくといいですね。



【団体】

地域ではとなり近所との付き合いがなくなってきていますが、私は近所のお年寄りに、地震が起こった時にタンスや仏壇の下敷きになってしまっても、助けてもらえないかもしれないので、タンスや仏壇のある部屋では寝ないようにと声をかけるようにしています。

阪神淡路大震災のときも、家のがれきの下敷きになった方が、日頃の近所付き合いがよく、近所の方が寝室の場所を知っていたため助けてもらったということがありました。出前講座でも、日頃の近所付き合いが大事という内容の寸劇を行い、災害時に近所の方で助け合うことの大切さについての啓発を行っています。

【市長】

出前講座による啓発は行えても、家具の転倒防止器具の取り付けなどは、プライバシーの問題もあり難しい課題ですね。

【団体】

毎年、防災訓練が行われますが、健常者の方は多く参加していますが、障がいを持った方の参加が少ないように思いますので、障がい者が多く参加できるような配慮をいただくとありがたいです。

【市長】

毎年防災訓練には地元の自治会を中心として多くの方が参加していただいておりますが、まだまだ参加されていない方や知らない方などが多くみえると思います。今後、より多くの方が参加し防災意識を高めていただけるように考えないといけませんね。

【団体】

市内の新しい公共施設などは障がい者だけでなく、お年寄りや子供にやさしい施設になっていますが、地区センターなどの古い施設ですと、多目的トイレになっていないとか、段差があったりなど、バリアフリー化されていない施設がありますので、改修していただけるといいと思います。

【市長】

学校などでも、和式のトイレが多いですので、洋式トイレに替えるようにしております。構造的に余裕があり、改修が可能な施設については出来る限りバリアフリー化を図っていますが、なかなか古い施設までは行きとどいていないのが現状です。

【団体】

チュウチュウ隊の活動だけでなく、地域活動にも参加しております。地区の運動会のプログラムを作成するときに、防災に関連した種目などを入れていただきたいとお願いしたところ、実行委員会の方が快く引き受けていただきました。また、地区の女性部会で出前講座のPRをしたところ申込をいただきましたので、私たちでも出来るところから始めています。



市民活動推進課が担当としてロビーコンサートを実施してみえますので、チュウチュウ隊の活動をロビーで披露したいとお願いしましたが、楽器の演奏や歌などのコンサートに限ると断られてしまいました。生涯学習の発表の場だと思いますので、やらせていただきたいと思います。

【市長】

歌などを基本としていただいて、出前講座のPRをしたり、寸劇を披露するなどしていただければいいと思います。

【団体】

鶴見団地でお世話になっています。契約では、釘などを打てないため、タンスや冷蔵庫などの転倒防止のための器具を取り付けることができませんので、地震が起きたときは倒れる心配があります。

【市長】

自分の部屋でも賃貸だといろいろな制約があり難しいですよね。どこの賃貸住宅もそのような契約になっているのですかね。転倒防止器具が取り付け出来ないとなると、ちょっと問題ですね。普通、エアコンなども設置しますよね。

【団体】

寸劇の出前講座を行うのに、小道具を制作して使っているのですが、大きなものもあるため、保管場所がなくて困っています。他のボランティアも同じだと思います。

【市長】

市役所だと生活安全課が担当になりますが、生活安全課が管理している施設があればいいですが少ないと思いますし、どの部署でも保管場所には困っているのではないかと思います。川並地区に水防施設の河川防災ステーションが完成しますが、水防ですので難しいでしょうね。

【団体】

南部公民館が廃止になる予定ですが、サービスセンターはどうなるのでしょうか。サークルが多くあり、今は無料で利用できますが、今後はどうなるのでしょうか。サークルが減ってしまうのが心配です。



【市長】

サービスセンターは、そのまま利用して頂けます。公民館を利用されている方が多いものですから、日新地区センターの利用率が低くなっています。これからは地区センターを生涯学習施設として充実させ、かがやきライフタウン構想を推進したいと思っていますので、サークル活動等も各地区センターの利用をお願いします。

～市長～

防災関係の活動はプライバシーの問題も抱えており、活動しづらい面もあるかと思いますが、今後も、出前講座などの啓発活動を通じて、市民のみなさんの防災意識向上のために活動を続けていただきたいと思います。